

～ひかり～

Picoナーサリ久我山ガーデン

テーマ：ひかり

【テーマ設定】

夏のプールでの出来事をきっかけに、
「太陽の光、蛍光灯の光…なぜ光は色々あるの？」という
子どもたちからの疑問が発生！

ガーデンの長い建物の作りを最大限に生かし、各クラスの
「**光散策活動**」を行うきっかけになった。



☆活動スケジュール☆

	活動内容	時間	人数
①	光の反射(3歳児)	20分程度	4名
②	光に色がある!(3歳児)	15分程度	5名
③	マットに色が!(1歳児)	10分程度	5名
④	光の時間(2歳児)	朝7時50分~9時頃迄	5名



活動①：プール遊び【3歳児】

～光の反射～

●子どもたちの様子●

プール遊びをしている際に、ふとプールの日よけのオーニングを眺め、ゆらゆら揺れている様子に気付く。

「あれなに？」と一人の子どもが、水がオーニングに反射している事に気付く。

●振り返りを踏まえた気付き●

プール遊びをしている際に、オーニングに反射する水の動きに気付くAくん。「あれなに？」と保育士に聞く姿が見られる。

何度もオーニングにうつる水の動きが一体何か分からず、しばらくオーニングを見つめる。

目の前の友だちが、水を叩く様子を見て、オーニングにうつる動きが、水を叩く姿と同じように激しく揺れる様子に気付き、「あれはプールの水なんだね！」とオーニングを指をさして気づく様子が見られた。

その後、毎回のプール遊びで観察することが定番に！

そして・・・

「太陽と水でできているんじゃない？」と気付く子どもがおり、クラスの友だちに伝える姿がみられた。



活動②：水遊び【3歳児】 ～光に色がある！～

●子どもたちの様子：活動内容●

プール遊びでオーニングの反射に興味を示していたことから、ステンドグラスの制作を行なう。太陽の光に当てて「影に色があるよ！」「綺麗だね～！」と観察、水の中に入れて、くっつくことを発見！そして、セロファンを通して光に色がついていることを発見する。

●振り返りを踏まえた気付き●

ステンドグラスを制作した際、「子どもが水の中に入れてみたい！」との発言があった。

水に濡らすと、ステンドグラスのセロファンが、壁やドア、ガラスにくっつくことに気が付く。

「ここにもつくよ！」と、靴箱や水道の壁など様々な場所につけてみる。

繰り返す中で、凹凸のある壁にはつかないことを発見！「なんで?!」と「どうして?」何度もためしてみようとする。「少ししか水に濡れてないからかな?」「もう一回水に浸けてみようよ!」と、自分たちで工夫しながら壁につく方法を探す。

その中で水の中に映ったセロファンの色に気付き、「光に色があるんだね!」「くっつくことも凄いけど、光に色があるのはおもしろいね!」と更なる発見をしていた。



活動③：室内遊び【1歳児】

～マットに色が！～



●子どもたちの様子：活動内容●

ままごとをして遊んでいると、床に色がついている事に気が付く。
色の付いている部分を触ってこすったり、「あお」「きいろ」など指を差しながら色の名前を口にしていた。



●振り返りを踏まえた気づき●

窓ガラスに貼ってある、手作りステンドグラスに光が当たり、床に色がうつると興味を示す。
以前から、絵本や色水遊びを通して、色への関心が高まっていたこともあり「あかだね」「これは(この色は)？」と、友達と、色の名前を口にしながら遊んでいた。

色に触れている途中で自分の体で光を遮ったことで、色が消えると「ないね」と不思議そうな表情を浮かべたり、色を探そうと体を動かしていた。



活動④：朝の時間【2歳児】

～光の時間～

●子どもたちの様子：活動内容●

朝の自由遊び中に、スタンドグラスの光やサンキャッチャーの光の粒が動いている事に気付く。その光を「ハチだ！」と言って、捕まえようとしたり、コップの中に光を入れようとしている。

カーテンの隙間から差す光に、ほこりが照らされると、手を伸ばし捕まえようとしていた。

●振り返りを踏まえた気付き●

太陽光が2歳児室内に入ってくる時間は、冬の朝、7時45分頃から9時頃までと限られる。

スタンドグラスの光、サンキャッチャーの揺れる光に気付いたAくんが、Bちゃんを誘い、光を虫に見立てて捕まえようとしていた。

光を捕まえる時には、自発的にコップを用意していた。陽が差し込む時間帯は限られているので、光がなくなると「いなくなった」と言って、差し込む光に限りがあることに気付く姿が見られた。

日が当たっている所は、「暖かい」日陰は「寒い」と、温度にも気付き保育士に話す姿が見られた。サンキャッチャーの光遊びは、冬場の方が光が差し込みやすいので、今後も常設して楽しんでいきたい。



眼鏡に興味津々！

●子どもたちの様子：活動内容●

職員の眼鏡が光に反射して、棚にうつる光を発見した。
側にいた職員は動くので、その動きに応じて、眼鏡の光が左右、上下に揺れる。職員に眼鏡を貸してほしいと伝え、職員が渡そうとすると、棚に眼鏡の影ができ、そこに光が差しこみ、その影と差し込んだ光が「目」のようにみえた。
それをみて、その影に「こんにちは」とあいさつをして、「(めがね)かーしーてー」と影に向かってお話をしていた。

●振り返りを踏まえた気付き●

職員の着用している眼鏡の影と光が動いている事に気付き、影に対して挨拶や、話をしている様子でコミュニケーションを楽しんでいる様子が伺えた。

子どもの発見をキャッチできる、保育力、観察力を幅広く持つことの大切さ、そして、会話だけのドキュメンテーションも今後作成し、その時の子どもの成長を見つめていきたい。

